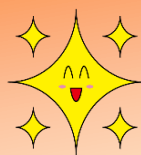


地域支援だより

# きらりNet



令和6年10月23日

第143号

秋田県立秋田きらり支援学校

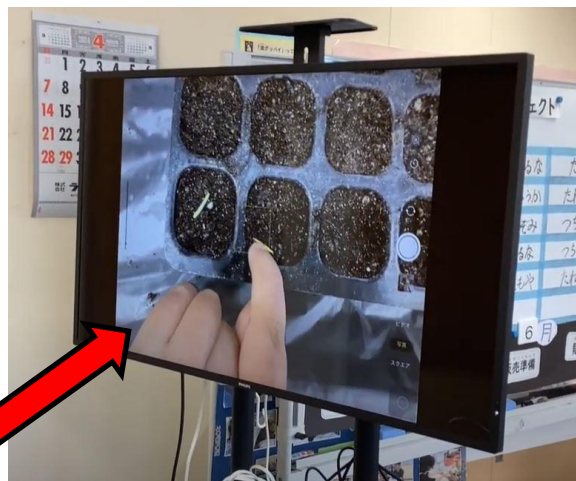
地域支援部

## 児童生徒の困り感を解消するICT活用実践例の紹介

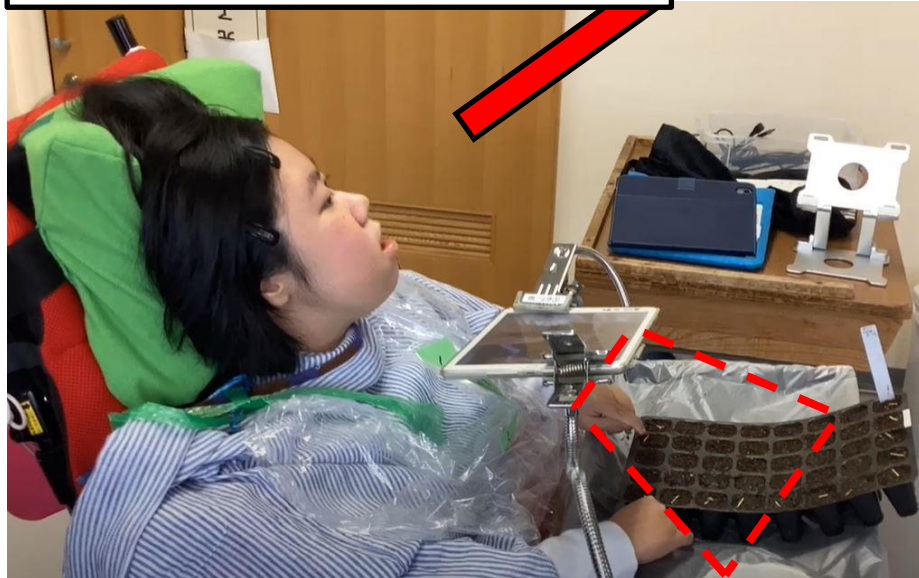
学習の中でiPadを使う様子がすっかり日常化してきた昨今、「授業の中でICTをどのように活用するのか？」と悩む先生も多い印象です。

ICTとは、児童生徒の活動の質を向上させるためにあるものですので、大切なことは目新しさよりも使用する必要性です。

今回はICTのちょっとした工夫によって生徒の活動の困難さを解消できた実践例を紹介します。



高等部「エコ・グリーン班」播種作業の様子



モニターで手元の様子を確認し、指先で種を植えている。

タブレット端末はクリップ付きのアームで固定する。モニターとはミラーリング機能でつないで手元の映像を見る。

使用しているアプリはカメラのみ。

本生徒は姿勢保持の難しさがあることから、これまでの授業では、自分で手元を確認しながら活動を行うことに難しさがありました。

この実践ではその困り感を解消するためにタブレット端末のカメラをモニターに映し、自分の目で手元を確認できるようにしました。そうすることで、一人で取り組める活動が増え、生徒の意欲と自信の向上につながりました。

今回使用したアプリは特別珍しいものではありません。多くの生徒や教師が使えるものを、ちょっとした工夫で有効に活用しています。

ICTを使用する際、児童生徒の願いに応じて「何のために」「何を」「どう使うのか」を事前によく整理することで、日々の生活や学習活動の充実につながります。

(文責：門間 洋平)



『校内探索×アサガオ栽培』で楽しく学ぶ小学部1年生の生活科

### 入学したばかりの1年生

入学したばかりの1年生は、学校生活に見通しをもちにくく、教室で時間いっぱい学習することに難しさがあります。「生活」の学習では、イラストや写真、実物、音などの様々なものを活用して、具体的な学習内容や手立てを用意すること、また、遊びの要素をふんだんに取り入れることを心掛けて授業づくりをしました。

### 大好きな校内探索

2名の児童は校内外の散歩が大好きです。学校探索を通して、学校周辺の場所を覚えたり、自然に触れたり、多くの友達や先生と関わったりしながら徐々に学校生活に慣れていきました。



### アサガオの栽培

土の感触を楽しみながら種まきをして、毎朝水やりをしながら観察を続けました。芽が出たときや葉っぱが大きくなったときは、指差しをして変化の様子を教師に伝えてくることもありました。

### 覚えたよ！学校のこと・アサガオのこと

アサガオの単元が進んでから、アームを使用して車いすに iPad を取り付け、画面に映った校内の場所を探しながら校内探索をする活動を始めました。これまで存分に校内探索を行ってきたので、覚えたことの確かめにもなります。アームを車いすに取り付けると、2名の児童はワクワクした表情で期待感を持っている様子でした。

画面に場所が示されると、指差しで移動する方向を伝える児童もいました。到着すると、アサガオの花や葉っぱの色、形などのクイズが出題されます。2名の児童は発語が難しい実態ですので、iPad に映った画像と写真カードのマッチング形式で行いました。画像と写



真カードを見比べながら、正解を考えて選択する姿が見られました。

単元を進めるに当たり、児童が楽しみながら学習に関心をもって意欲的に取り組むために、試行錯誤をしました。中でも、タブレット端末などの ICT 機器の活用は、触ったときの反応性が高いので、児童の達成感や理解に役立ったと感じています。

(文責：白瀬 喬彦)

## 教育専門監のつぶやき

先月生涯学習センターにて、本校の同窓会活動である青年学級「エンジョイ!ミュージック」が行われました。参加者の A さんは学校時代に、動きを可視化するアプリ「iOAK」を使いまばたきで意思表示をしていました。当日もそのアプリを準備したところ、A さんは曲を聞きながらたくさんまばたきをしてリズム打ちをしていました。他の参加者も学生時代に A さんと一緒に過ごしてきたので、A さんがアプリを使っている姿は「普段通りの姿」です。

学校では今や日常的に ICT 機器が活用されています。この学びが学校だけで終わるのではなく、その先の生活にもつながられる、ということ A さんの姿から感じた一日でした。(文責：藤原 恵理子)